

## 製品名: PDGFR アルファ (19M3) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe15905

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	123kDa

### 抗原情報

遺伝子名	PDGFRA
別名	PDGF-R-alpha; PDGFR-alpha; CD140a antigen;
遺伝子 ID	5156.0
SwissProt ID	P16234
免疫原	ヒト PDGF 受容体 α の組み換えタンパク質

### 背景

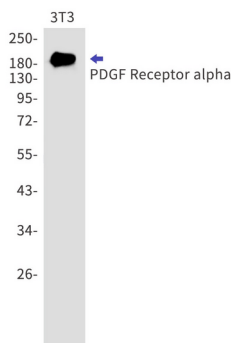
血小板由来増殖因子 (PDGF) ファミリータンパク質は、ジスルフィド結合したいくつかの二量体アイソフォーム (PDGF AA、PDGF

AB、PDGF BB、PDGF CC、および PDGF DD) として存在し、2つの密接に関連した受容体チロシンキナーゼ、PDGF 受容体  $\alpha$  (PDGFR $\alpha$ ) および PDGF 受容体  $\beta$  (PDGFR $\beta$ ) に特定のパターンで結合します。PDGFA と PDGFB の両方に結合し、チロシンタンパク質キナーゼ活性を持つ受容体。PDGFA、PDGFB、および PDGFC の細胞表面受容体として機能するチロシンタンパク質キナーゼは、胚発生、細胞増殖、生存、および走化性の調節に重要な役割を果たしています。状況に応じて、細胞増殖および細胞移動を促進または阻害します。骨髄由来間葉系幹細胞の分化に重要な役割を果たします。正常な骨格の発達と胚発生中の頭蓋閉鎖に必要である。消化管の内壁を覆う粘膜の正常な発達、間葉系細胞の動員および腸絨毛の正常な発達に必要である。創傷治癒における細胞遊走および走化性に関与する。血小板活性化、血小板顆粒からのアゴニストの分泌、およびトロンビン誘導性血小板凝集に関与する。同族リガンド (ホモ二量体 PDGFA、ホモ二量体 PDGFB、PDGFA と PDGFB によって形成されるヘテロ二量体、またはホモ二量体 PDGFC) の結合は、いくつかのシグナル伝達カスケードの活性化につながる。この応答は結合したリガンドの性質に依存し、PDGFRA と PDGFRB 間のヘテロ二量体の形成によって調節される。PIK3R1、PLCG1、および PTPN11 をリン酸化します。PLCG1 の活性化は、細胞シグナル分子であるジアシルグリセロールおよびイノシトール 1,4,5-トリスリン酸の産生、細胞質 Ca(2+) の動員、およびタンパク質キナーゼ C の活性化につながる。ホスファチジルイノシトール 3-キナーゼの調節サブユニットである PIK3R1 をリン酸化することで、AKT1 シグナル伝達経路の活性化を媒介する。HRAS および MAP キナーゼ MAPK1/ERK2 および/または MAPK3/ERK1 の活性化を媒介する。STAT ファミリーメンバーである STAT1、STAT3、および STAT5A および/または STAT5B の活性化を促進する。受容体シグナル伝達は、受容体およびその下流エフェクターを脱リン酸化させるタンパク質ホスファターゼ、ならびに活性化受容体の急速な内部化によってダウンレギュレーションされる。

## 研究分野

心血管系

## 画像データ



PDGF 受容体アルファ抗体 (1:1000 希釈) を使用した 3T3 細胞溶解物中の PDGF 受容体アルファのウエスタン ブロット検出。